

平成 28 年度第 2 回奈良市プロポーザル採否審査会会議録

開催日時	平成 28 年 6 月 24 日（金）午後 1 時 3 0 分から 2 時 1 0 分まで		
開催場所	奈良市役所 中央棟 5 階 庁議室		
出席者	委員長	向井副市長	
	委員	津山副市長 萬谷法令遵守監察監 西谷会計契約部長 外良市民生活部長 南環境部長 喜多都市整備部長 山本建設部長 北谷教育総務部長	
	事務局	会計契約部次長 会計契約部参事契約課長事務取扱 契約課主任	
開催形態	公開（傍聴人 0 人）	担当課	観光経済部 商工労政課
議題 又は 案件	1 女性の就業支援事業業務委託について		
決定又は 取り纏め 事項	1 採用		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
<p>津山副市長 お金の話になったときに、1800 万円でやるけども、1 番で 1200 万、下で 600 万という提案はダメなんですね。</p> <p>花村課長 提案としては、無理になります。一番としては内訳が 1050 万円ですので、最終的に国に報告するときに、一つの事業がオーバーしてしまうと、その分が交付金として認められません。オーバーした額の提案をした時点で条件から外れます。</p> <p>山本部長 これは何人ぐらいが半年間で利用するという想定ですか。</p> <p>花村課長 目標数値としては就職させる人が 80 人、セミナーの受講者が 150 人です。事業は一年間ですが、実質は半年間になります。</p> <p>津山副市長 一年やって、その後は国からの交付金はゼロになるのですか。</p> <p>花村課長 国は交付金事業として、来年度以降については何も示していません。</p> <p>津山副市長 交付金事業でなくなったからといって、一年でやめられない。セミナー</p>			

受けて、次は求人、企業を探してもらえるとみんな思っている。

花村課長 本来、これは仕組みづくりを一年やるわけですが、そのうちに企業から、掲載費等によりビジネス化し、民間企業が自立してやっていくのが、最終一番あるべき姿だと思っています。

津山副市長 それで、2年目3年目は誰が金を出すんですか。

花村課長 市でも一般財源を多少確保する必要があるかと思います。ある程度のお金はセミナー受講者にも本人負担していただくのがいいかとは思っています。

津山副市長 本人負担が一年目はなしで、二年目からはそういうスタンス変更も頭に置きながらやるということですか。

花村課長 はい。一年目はやはりやったことのない事業になりますので、これから改善点も必要になってくるかと思えますし、行政側がテストケースを作り、それをもって民間が運営するのが最終的な形かと思えます。

向井副市長 例えば就労支援とか求人企業開拓という事業のイメージは課で持っているのですか。求人企業開拓とはどんなことをしてもらいたいとか。

花村課長 奈良の場合、正社員のニーズよりも、短期間の労働のニーズがあります。例えば、保険の会社で簿記をして欲しい場合、一日短時間で週に数日、簿記を知っている人に来てもらい、時間は合わせますというようなニーズは実際あるようです。そういったところに実際入り込み、ここだけアウトソーシングしませんかという提案を企業開拓員としてはして欲しいなと思っています。それによって、今はいらなくてという企業さんはあるかもしれないですが、これから介護で休まれる社員さんとか、そういうような短時間で勤めなければならぬという状況が出てきたときに、この経験があると対応し易いと思えます。また、それが出来る会社であると次に若い人も優秀な人材を取りやすいというような、企業さんのメリットも見据えた上で提案ができる事業所をこちらとしては、探したいなと思っております。

外郎部長 プロポーザルを提案する業者っていうか、団体っていうか、どんなイメージをもっていますか。

花村課長 この事業であれば、全体的に大きい人材派遣ないし、就職支援をやっている会社があればいいんですけども。他市では、新規で就労支援をしている中小企業等も応募しており、こちらとしてもそういったところを想定しています。ただ、就業斡旋、要するに企業とのマッチングのところでは人材派遣

の資格がいりますので、それをもっているということは応募条件に挙げてお
ります。今回、事業所の参加要件として奈良市に本社か支社か、営業所があ
る団体で、なおかつ職業安定法に基づく職業紹介が出来る事業所というこ
とになります。

向井副市長 具体的に提案の違いは何があるのですか。一方でそういう人がいますか
と集めて、一方で会社ってそういう仕事ありますかって、それでこの人
たちにセミナーなり何なりをやって、甲乙をつけるということですよ。ね。
そこでの提案の違いって何ですか？

花村課長 どういう業界にアプローチするのか、例えば一般事務であればこういうと
ころに企業開拓できるのではないですかとか、方向性も違いになってくるの
かと思います。奈良だから必要となっているニーズもあると思うので、そこ
に人をあてる工夫をどれだけ独自にしているかというのがポイントになると
思います。実際、お母さんたちは求人広告等とよく見ているらしいです。見
ているけれども、見るにとどまっている、なぜそこから就職が出来ないのか
っていうネックを取り除く工夫を提案いただけたらなと思います。

外良部長 奈良市として市の就業支援の中身の話が、もう一つ表に出ない。前提条件
が分からないのですが、市としての考えはなんですか。ハローワークのパー
トタイム版と同じではないですか。

花村課長 ハローワークのパート版と違うというのは、今の奈良の状態というか、お
母さんたちが求めているのは、単なるパート労働ではなくて、短時間正社員
というような、正社員と同じような判断を求められる、ただ時間が短い、そ
ういうような業種がないかということなのですね。これからどんどん労働
人口が減っていく時代に、違う働き方が考えられませんかかっていうのが今回
の提案です。今までのパート労働とは違ったところで企業に短い時間で働け
る仕事を見つけてもらい、そこに今はお母さんを当てはめています、その
うち介護により退職した、中途退職の中年の男性とかも入ってくるかもしれ
ませんし、これから多様性と言われる時代であれば、仕事のあり方を企業側
も受け入れてくれませんかかっていう、そういう提案が、市のスタンスです。そ
れを一緒にやってくれる事業者を探したい。

向井副市長 うちはそう思っているでしょ、その求人企業の改革広報をプロポーザ
ルする人なのか。極端に言ったら、うちはその企業とその業種をよく知っ
ている人を連れて、実際そこの中身に入って行って、その企業の中身もみ
て、「ここは10時～15時まで出来るでしょとちゃんと説得する技術があり
ます」という業者を選ぶということですか。

花村課長　そうです。結局その会社に行って、これをしますと言ったときに、そこにどういふノウハウがあつてやるかという提案をうちは欲しいです。どのような形で企業さんにも提案し、仕事を切り分けてこられるのかというところを提案して頂きたいなと思っています。

外良部長　このプロポーザルの実施要綱を見ての業務内容は、埋もれている人材の人にセミナーとか来てくださいますとかいうのが一点と、そういう人を利活用してくれる業者の発掘とこの二点を行いますとしか書いていない。だから、ハローワークとどう違うのって話になる。プレゼンテーションをしてもらつて、そのノウハウを持っている人を選びますと。今の話の内容だったら市として的前提条件がそれだけあるわけです。それがこのプロポーザルの実施要綱では分からない。

津山副市長　民間では拾いきれないような、そこに収まらない人がいっぱいいますと、そんな人を拾って欲しいのか。要は仕事に入りきれない何か原因があつて、解明して解消して、繋げてくれるそのアイデアを募集しますっていうことなのですか。

花村課長　おっしゃつたとおりです。こちらで考えているのは、例えば時間がネックということであれば、時間のネックを外せるような企業に入つていって、こういう業種を切り出せますとあつて欲しい。既にある求人をごつちにつなげていこうとは思いませんので、ある意味新しい求人を切り出し、今までなかったところのニーズを作り出していくということです。

津山副市長　プロポーザルで求めることをもっとハッキリしておかないとおそらく、中身をとても欠くものになると思う。うちはこんなに充実していますよとこの争いになってしまいますからね。うちが求めることは、そこはきっちり示さないで。

向井副市長　どこに視点を置くかという、提案の内容。セミナーとかはみんないうでしょうね。その中身なのか、職種の良さなのか、何か自分が委員だったらそこが難しいと思うので。そういうことで、審査会としてはプロポーザルで良いということで。途中の意見は参考にしてください。ありがとうございました。

資料	【資料1】平成28年度 第2回奈良市プロポーザル方式採否審査会調査 案件番号1 【資料2】「女性の就業支援事業業務委託」に係る公募型プロポーザル方式 実施要領
----	--